

## 中津山第二小 学校自慢新聞について

○「けんばやし」が一人前に踊れるようになるにはどのぐらいの練習が必要ですか。

⇒けんばやしは、扇子をつかわずに手や体の動きで表現する踊りです。特に指先の動きのきれいさを出すのがむずかしい踊りです。そのため、4年生以上が取り組みます。4年生以上でも1年以上練習しないと一人前に踊ることができません。踊りは、寺崎はねこ踊り保存会の方々が、学校に教えに来てくれます。一生懸命練習し運動会の日に発表します。



○「ばかばやし」はどんな踊りですか。

⇒昭和25年ぐらいにつくられた踊りです。両手に日の丸の扇子をもち、調子のよいおはやしに合わせて踊ります。うちばやしは定位置か一方方向に移動しながら踊るのに対し、ばかばやしは自分の好きな方向に移動して入り乱れます。踊りとしては、動きが速い感じですが、3分ぐらい踊りますが、踊り終わるとすごく疲れます。運動会では、3種類の踊りを赤白の組に分かれて踊り比べます。

○スペシャル縦割り班活動について、今年の「遊びのお店」の中でおすすめのお店を教えてください。

⇒おすすめのお店は巨大オセロです。大きなマス目と大きなコマをつかい、時間内にどれだけ多くのコマをかえせるかで勝負します。ひっくり返されないように相手の動きを読むなど頭をつかう楽しさと、体を動かす楽しさがおすすめのポイントです。制限時間は30秒です。縦割り班の6班が準備を担当しています。縦割り班活動はみんなと協力して活動するので、学年をこえて仲良くなれます。



○ピアサポートについて、具体的にどのようなことを行っていますか。

⇒困っている下級生に声を掛け、一緒に問題を解決する活動です。具体的には、朝や業間に校内を見回り、トラブルが起きていたら声を掛けます。本人たちが納得できるように解決の手伝いをしています。5・6年生の運営委員が月・水・金に活動しています。

○最後に中津山第二小学校の大好きなところを教えてください。

⇒明るいあいさつができ、みんなで助け合って活動できるところ。

⇒ほかの学年の良いところに目を向けてそのことを伝えあい、下級生に対して思いやりの気持ちをもって接するところ。

※そのため、全校の仲が良いことが自慢です。

※「やさしく、かしこく、たくましく」を目標にしている学校です。